
愛していたよ

晃奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛していたよ

【Nコード】

N2192G

【作者名】

晃奈

【あらすじ】

半年間思い続けた愛の最大の誤算。

何気なく寄りかかった君の肩は

温かった。

嘘か本当か

あなたは私に笑いかけた。

その笑顔だけでいい

その笑顔だけそこにあれば

そう思っていたはずなのに

なんだか欲張りになってしまった私は

あなた自身を欲しくなった。

ねえ行かないで。

ずっととか永遠とか

運命とかそんな言葉よりもっと

もっと確実に

離れられない言葉が欲しい。

全てはタイミングで決まる。半年間思い続けた歪んだ愛は1週間かけて終わった。

最後の最後であなたは私への想いを見つけたようだけど…
ただ少しタイミングを逃しただけ…あと少しあなたが早く気づいてくれれば

私はあなた以外のことで涙を流すことはなかった。

あの日2人壁にもたれ声が枯れるまで泣いたこと
きつと私は忘れない。

きつかけも付き合い方もすべてが歪んでいて汚れていて…

決して人に羨まれるような2人ではなかったけど

決して不幸せな2人でもなかった。

愛していたよ。一度も言葉に出さなかったけど

愛していたよ。本当は誰よりも。

あなたが結びつけた別の人との赤い糸。

それが私たちだったら今頃2人で居たのかな？

赤い糸は切れそうになりながらも

その綻びを結びなおして頑張ってるよ。

あなたの赤い糸は今の人ですか？

それならそうでもいいけど

私だったらと今でも考えますか？

なんて…

少し寂しくなってしまった私は
勝手なことを考える。

ああ…

愛していたよ。

最大の誤算は…

あなたにめぐり逢えたことを

運命だと思ってしまったことかな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2192g/>

愛していたよ

2011年1月26日14時27分発行